

学域名	医薬保健学域
学類名	医学類

学類のアドバンス・ポリシー（単位修得方針）

医師として必要な専門的知識及び基本的技術の他、幅広い教養、高い倫理観を身につけ、患者中心の全人的医療を推進できる、探求心・研究心をもって継続的学習を行い、最新の科学研究を理解する事が出来る。

学類のOP(1)キリウム(履修方針) **学類の学習成果(①-④)を学習成果を上げために履修することがとくに強く求められる科目、⑤-⑦学習成果を上げるために履修することがとくに求められる科目、⑧-⑩学習成果を上げるために履修することがとくに求められる科目**

初年度に行う「早期臨床体験」により、医学部に入学した学生に対して、6年間の学修の目標を概観させる。その上で2年次以降、基礎医学と臨床医学を関連づけて学ぶような統合的カリキュラムを編成する。少人数で行う実習やテーマリル教育といわれ、課題駆動的な自己学習を指導する。

基礎医学・社会医学領域における専門的な知識を身につける。 A.知識及び技能 B.研究心 C.倫理観 D.地域医療 E.コミュニケーション

臨床医学領域における専門的な知識を身につける。 ①から必要な課題を自己学習により、自己学習によってそれを解決する姿勢を身につける。 ②から必要な課題を自己学習により、自己学習によってそれを解決する姿勢を身につける。 ③から必要な課題を自己学習により、自己学習によってそれを解決する姿勢を身につける。 ④から必要な課題を自己学習により、自己学習によってそれを解決する姿勢を身につける。 ⑤から必要な課題を自己学習により、自己学習によってそれを解決する姿勢を身につける。 ⑥から必要な課題を自己学習により、自己学習によってそれを解決する姿勢を身につける。 ⑦から必要な課題を自己学習により、自己学習によってそれを解決する姿勢を身につける。

学類のカリキュラム

科目番号	科目名	学修目標	学年	前期	後期	A.知識及び技能	B.研究心	C.倫理観	D.地域医療	E.コミュニケーション	F.危機への対応
	医療情報	(1)診療録および診療上の諸記録の、定義と法的要件効果、標準的記載作成の方法、管理方法を説明できる。 (2)医学的・法的に適切な診療録を記載し、適切に診療情報を取り扱うことが出来る。 (3)電子化された診療情報を取り扱う病院情報システムについて、構成する要素および技術を説明できる。 (4)電子化された診療情報を適切に取り扱うことが出来る	3					○	◎		
	医療倫理の基礎	医師として救急災害医療を実践できるようにするため、救急災害医学・医療に関する基本的態度・知識・技術を身につける。 医療の主体への作用について、身体・細胞・分子レベルにおける作用機序を理解する。また、薬物の作用による変化とその薬理について学ぶ	3	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	病理の分子機構	病理学的専門用語を正確に理解する。代表的な疾患の病因、病理形態を説明でき、かつ、肉眼形態および組織像から病理診断ができる。	3	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	衛生学	講義中はプリントの項目毎に学習することを目標とする。 読解で理解出来なかったことをテキスト・参考書により調べ復習とする。 疫学調査のつくりかた、疫学統計学を必要とする。その上で衛生学・公衆衛生として存在していることが前提であることを理解する必要がある。このことを理解した上で、健康の保持・増進に関わる事業をグローバルに把握する。	3	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	公衆衛生学	社会制度としての側面を持つ医学・医療を身に付けるには、広く医療制度や社会情勢に目を向けることが重要である。また、EBMの重要性が広く認識され、臨床研究や疫学調査を手を広く理解することが求められる。これらの要求に対応する基礎を身に付け、社会保険制度の変遷、医療行政における疫学的重要性を理解することを目標とする。	3	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	基本的基礎解剖	研究の基本的な流れ(目的及び背景、実験計画、実験手法、結果及びその解釈、考察)を理解する。文献検索などを通じて基礎的な知識を広く、周囲の人と積極的にディスカッションを行う。	3	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	小児科診断学実習	小児、特に診察が難しい乳幼児の、視診、触診、聴診、診察法を学び、理論の所見の採入の相違を理解する。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	臨床検査学実習	医療面接や現症などから得られた医療情報をもとに作業依頼をたて、臨床検査項目を適切に行い、その結果を解釈できることとする。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	臓器診断学実習	超音波診断法、CT診断法、磁気共鳴診断法、血管造影法、核医学診断法などの、臓器の構造、機能、反応や疾患について学ぶ。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	免疫学(臨床免疫学)	臨床免疫学を理解し、アトピーアレルギー、アレルギー、膠原病、アレルギー産物の病態と診断のメカニズムを説明できる。診断基準に基づいて全身性エリテマトーデス、関節リウマチ、皮膚病、多発性発疹、シェーグレン症候群が正しく診断できる。ステロイドホルモンや免疫抑制剤、生物学的製剤による治療法を習得する。治療中に発症しうる感染症をはじめとした合併症に対する適切な評価と対応法を習得する	4	+	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	血液(臨床免疫学)	造血や免疫・造血のしくみを理解する。末梢血液・骨髄細胞の鑑別ができるようになる。造血系における免疫・造血のしくみを理解する。末梢血液・骨髄細胞の鑑別ができるようになる。造血系における免疫・造血のしくみを理解する。末梢血液・骨髄細胞の鑑別ができるようになる。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	神経精神(臨床免疫学)	神経精神疾患の代表的な状態像を理解する。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	先天奇形(臨床免疫学)	染色体異常、胎児感染症による先天奇形症候群、小児神経・筋疾患、小児心身症などに非特異的疾患、小児整形を診断し、説明できる。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	産科口産(臨床免疫学)	産業では産前、プリント、スライドと討論することでポイントの把握が可能	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	救急・災害医学(臨床免疫学)	医師として救急災害医療を実践できるようにするため、救急災害医学・医療に関する基本的態度・知識・技術を身につける。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	感染症(臨床免疫学)	感染症の診断及び治療に必要な微生物学および分子生物学的知識を取得する。感染症の予防的治療を理解する。抗菌薬の基本的および副作用を理解する。宿主の状態、感染経路などによる感染症の鑑別診断を理解する。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	腫瘍(臨床免疫学)	腫瘍学の臨床講義として、各臓器の代表的腫瘍の病態の特徴、診断および治療について、実際の臨床症例を通して理解を深める。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	免疫学(臨床免疫学)	リウマチ、膠原病、アレルギー疾患を系統的に診断することができる。症例の問題点を把握し、鑑別診断をたてること出来る。	4	+	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	血液(臨床免疫学)	代表的な血液疾患の臨床像、検査成績、診断法および治療法が理解できる。予後因子などにより治療法が選択できる。代表的な血液・骨髄像がわかる。代表的な疾患の分子生物学的病態を理解する。分子標的療法などの最新の治療法を知る。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	神経精神(臨床免疫学)	代表的な精神疾患を理解する。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	神経内科(臨床免疫学)	症例の脳病態から病質のカテゴリ診断を行う。 神経学的診察から神経学的局在診断を行う。 カテゴリ診断と神経学的局在診断から、症例の病態、診断を考察する。 鑑別診断を行い、鑑別法について理解し、解釈する。 治療法について理解し、考察する。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	循環器(臨床免疫学)	診断学実習、系統講義に引き続き、症例から疾患について学習する。提示された各疾患は勿論であるが、関連領域についても自ら学習し、知識の幅を広げたい。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	呼吸器(臨床免疫学)	提示された呼吸器疾患患者の症候・病態・診断・治療について十分にグループ討論してまとめあげ発表し、質問に答えながら不足分を補いつつ理解を深める。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	栄養・消化器(臨床免疫学)	栄養・消化器臨床医学を効果的に受講し、かつ将来の臨床実習を円滑にこなすことが出来るようするための基礎的知識を獲得し、さらに最新のトピックスは何かを自らも探求する。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	皮膚・泌尿・腫瘍(臨床免疫学)	一般系統講義で学んだ知識をもとに、実際の臨床現場の現状を理解する。 It learns the present condition of the practical medical field on the basis of a knowledge studied in the general systematic lecture	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	腎・泌尿器・消化器(臨床免疫学)	泌尿器科診療を学び、その実態を知る。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	皮膚・泌尿器科(臨床免疫学)	病気に関する知識のみでなく、患者さんの身体的・精神的問題を全人的に把握する能力を養う。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	整形外科(臨床免疫学)	整形外科の理論と各論についての知識を習得すること。	4	+		◎	◎	◎	◎	◎	◎

学域名	医療保健学域
学類名	医学類

学類のアドバンス・ポリシー(単位換考方針)

医師として必要な専門的知識及び基本的技能の他、幅広い教養、高い倫理観を身に付け、患者中心の全人的医療を推進できる、探求心・研究心をもって継続的学習を行い、最新の科学的研究を理解する事が出来る。

学類のQP(カリキュラム編成方針)

学類の学習成果(○)→学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○→学習成果を上げるために履修することが求められる科目、△→学習成果を上げるために履修することが求められる科目

初年度に行う「早期臨床体験」により、医学部に入学した学生に対して、6年間の学修の目標を明確化する。その上で2年次以降、基礎医学と臨床医学を関連づけて学べるような統合的カリキュラムを編成する。少人数で行う実習やチームワイルド学習といわれ、課題解決型の自己学習を指導する。

学類のカリキュラム

科目 番号	医 学 名 目	学 習 目 的	学 年	前 期	後 期	A.知識及び技能	B.問題発見・解決能力	C.専門的知識・技能	D.基礎的素養	E.職業的素養	F.倫理観	G.コミュニケーション	H.国際化	I.生涯学習	J.社会貢献	K.健康増進	L.安全・安心
	内分科・代価(臨床講義)	症例を主治医とともに観察し、診断、治療を理解して症例の問題点を把握し、問題解決能力を養う。診療ガイドラインに基づいた臨床を行うことができる能力を身につける。	4	+	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	先天奇形(臨床講義)	正常生育・成長と一般的な「Normal Growth & Development/Pediatrics」に同じ。小児期の基本的な疾患を概観し、説明できる。	4	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	事故・中毒(臨床講義)	管理および呼吸生理学、代謝・体液生理学、麻酔時に使用する薬剤を理解する。特殊な病態の麻酔を理解する。ベントリリックについて理解を深める。	4	+	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	歯科口腔(臨床講義)	口唇が総合咀嚼器官として重要であることと治療に際してそれを考慮していることを理解する。授業では板書、プリント、スライドを回覧することでポイントの把握が容易。	4	+	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	救急・災害医学(臨床講義)	医師として救急災害医療を要請できるようにするため、救急災害医学・医療に関する基本的態度・医療に関する基本的態度・知識・技能を身につける。	4	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	総合診療学(臨床講義)	患者・地域と密接に関わる患者中心医療を実践できる医師となるために、しっかりと臨床推論、臨床判断力を基本とした診療学知識・態度を学ぶ。	4	+	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	小児の身体的・運動的発育・成長の正常範囲を説明し、説明できる。小児期の基本的な疾患を概観し、説明できる。		4	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	感染症(臨床医学各論)	感染症の診断及び治療に必要な微生物学および分子生物学の知識を取得する。感染症の疫学的動向を理解する。抗菌薬法の基本および副作用を理解する。宿主の状態、感染経路などによる感染症の鑑別診断を理解する。	4	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	腫瘍(臨床医学各論)	ヒトの各臓器に発生する腫瘍の病態、診断および治療について、広範的に理解を深める。	4	+	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	脳神経外科学疾患における脳、脳神経、感覚器の役割と病態を説明できる。		4	+	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	本講義で知識を習得し、臨床実習において実際の患者を診ることで知識を深め、さらに疑問点を発見し解決するというすべての臨床医、基礎医学者に必要な能力を身につける。		4	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	臨床実習で実際の症例を眼前にした際に、病歴、病態から診断法、治療法が想起できるようになる。		4	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	神経系の病態についての基本的知識を修得する。 神経系を侵害する疾患についてのアトランジを理解し、代表的神経疾患についての概観を習得する。		4	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	各種神経疾患の診断学、治療学などを身につけ、臨床実習に携わる前に必要な神経疾患の知識を習得する。		4	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	呼吸器疾患患者の診療の工夫となる基本的知識を身につける。		4	+	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	栄養・消化器臨床講義を効果的に受講し、かつ得た臨床実習を円滑に効果的に行うための基礎的知識を習得し、さらに最新のトピックスは何かを自らも探索する。		4	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	牛犢に生理・病態について学び、妊娠、分娩、産後並びに周産期において母児の管理が適切に行えるための知識を身に付ける。		4	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	泌尿生殖器疾患の検査、診断法および治療法を学ぶ。		4	+	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	腎・泌尿器・男性生殖学2 腎・高血圧・水電解質・糖塩基平衡異常の病態ならびに病態を把握し、診断・治療の考え方を理解する。		4	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	皮膚・性感染症・膠原病(臨床医学各論)	主な皮膚疾患について理解する。	4	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	運動器(臨床医学各論)	運動器疾患について身体所見より病態の予測が出来るようになり、画像診断で診断を絞り込み病態が把握できるようになる。得られた病態についていくつかの治療方法を提案できる知識を修得する。	4	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	内分科・代価(臨床医学各論)	ホルモンの分泌、機能、作用を理解し産生異常や受容体異常による疾患を理解する。生活習慣病の検査、治療に際して各疾患の診療ガイドラインを理解する。	4	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	事故・中毒(臨床医学各論)	管理および呼吸生理学、代謝・体液生理学、麻酔時に使用する薬剤を理解する。特殊な病態の麻酔を理解する。ベントリリックについて理解を深める。	4	+	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	基本的臨床手技実習	患者との良好な関係の中で、患者の抱える健康上の問題を的確かつ全人的に把握して、円滑に臨床実習(inpatient learning)を行うための、患者と接する臨床現場、身体診察の重要性を理解し、基本的な技能・態度を身につける。	4	+	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	毎回症例提示からその疾患の主な症状、病態を理解し鑑別診断を理解すると同時に科学的根拠に基づいた基本的医療知識を習得する。		4	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	脳・脊髄の病態的疾患の病態を具体的に説明できる。これらの外科的治療の適応と治療を説明できる。		4	+	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	講義での知識の習得、臨床実習での知識の発展、実際の患者を診ることで疑問点を発見、解決するというすべての臨床医、基礎医学者に必要な能力を身につける。		4	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	病歴及び外来で実際の患者について学ぶことにより、最低限必要な診察(検査)・診断・治療計画等が出来るようになる。また、患者や医療チームとのコミュニケーションを確立し、実務現場に於けるようになる。		5	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	病歴及び外来で実際の患者について学ぶことにより、必要な診察(検査)・診断・診断計画等が出来るようになる。また、患者や医療チームとのコミュニケーションを保ち、より医療現場に於けるようになる。		6	+	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	応用基礎実習	自ら計画を立てて実験を行い、周囲の人とのディスカッションを通じて、結果の解釈・考察を行う事が出来る。	6	+	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎